

# 小林和作の世界

和作 新収蔵・初公開〔丹下コレクション〕と瓊州 没後50年



小林和作《海辺の丘》

2006.11月30日[木] — 2007.2月4日[日]

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日

(12月29日[金]～1月3日[水]は休館 1月8日[月・祝]は開館、翌9日[火]は休館)

観覧料 大人300円、高・大生200円、中学生以下無料

(20名以上の団体は各50円引き)

■70歳以上・身障者の方は無料です。受付で免許証など証明できるものをご提示ください。

主催＝尾道市立美術館

後援＝広島県教育委員会／NHK広島放送局

## ご利用案内

- JR山陽本線「尾道駅」から、東行きバス(①番のりば)で「長江口」下車、ロープウェイで「千光寺公園」へ。(市バスの「千光寺公園」直行便は、便数が少ないのでご注意ください)
- お車の方は、千光寺山ドライブウェイ経由で、「千光寺公園駐車場(有料)」へ。(入館の際に駐車券をご提示ください。当日券1名様に限り100円割引いたします。)
- JR山陽本線「尾道駅」、JR山陽新幹線「新尾道駅」からタクシーで約15分。

 **尾道市立美術館**  
ONOMICHI CITY MUSEUM OF ART  
〒722-0032 尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内  
Tel.0848-23-2281 Fax.0848-20-1682







小林和作《海》



楠瓊州《桃》



小林和作《高原》



小林和作《山湖(秋)》



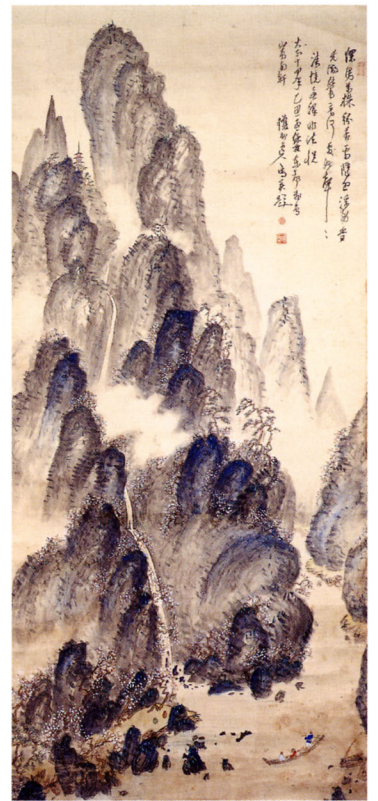
小林和作《鳩と林檎》

秋の企画展「小林和作の世界」は、「和作(丹下コレクションを中心に)と瓊州(没後50年)」と題して開催します。

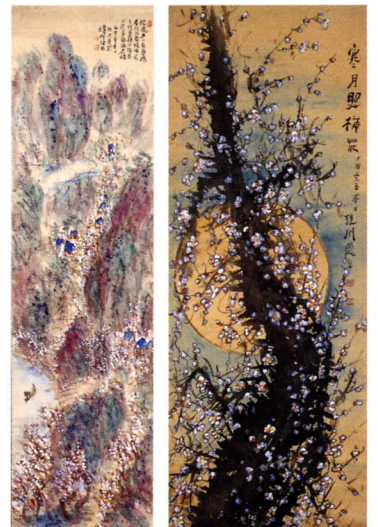
昭和9年、尾道に移り住んだ小林和作は市民と身近に接しながら絵画愛好家の間で講師役をつとめるかわら、多くの人々と親交を重ねました。ここに集った人たちの中には和作の人柄にひかれ、その作品に魅せられて、作品を蒐集する人々があられました。本展では、一個人所蔵家から、この度美術館に一括寄贈をされたコレクション、なかでも独立展出品油彩画を中心に、油彩・水彩・色紙また和作の周辺にあって、画業に直接関わった作家たちの作品まで総数80点余を紹介し

ます。一方、瓊州は尾道に生まれ、非凡な才能に恵まれ郷里での大成を望んだが果たせず、母とともに各地を転々とした画家です。その作品はのち、高く評価されることとなり、没後50年にあたる本年、当館所蔵作品によってその画業を辿ります。

和作と瓊州、ほぼ同年代を生きながら、まったく異なる人生を歩んだ二人の作家です。尾道をキーワードに、二人の作品を一堂に集め展覧することで、尾道を通して広がる美術の世界を感じとっていただければ幸いです。



楠瓊州《着彩尋梅山水》



楠瓊州《尋梅山水図》 楠瓊州《寒月照梅図》

会期中の催し物

子ども鑑賞会「わいわい がやがや おしゃべりギャラリートーク」  
日 時:2006年12月10日[日]・2007年1月14日[日]  
両日とも、午後2時～午後3時まで  
場 所:尾道市立美術館 各展示室  
参加等:参加無料(ただし入館料が必要)、参加申込みは不要です。

『列品解説』

日 時:2006年12月24日[日]・2007年1月28日[日]  
両日とも、午後2時～  
場 所:尾道市立美術館 展示室  
参加等:参加無料(ただし入館料が必要)、参加申込みは不要です。

美術館情報

- ひろしま美術館  
大ナボレオン展  
12月2日[土]～1月14日[日]
- 広島県立美術館  
フラティスラヴァ世界絵本原画展  
12月5日[火]～1月14日[日]
- なかた美術館  
所蔵品展  
会期中～12月28日[木]
- 圓鏡記念館  
所蔵展Ⅱ  
11月28日[火]～3月25日[日]

- ふくやま美術館  
フランク・ロイド・ライトと武田五一  
日本趣味と近代建築  
2007年1月13日[土]～3月11日[日]
- 島根県立美術館  
第53回日本伝統工芸展  
12月6日[水]～12月23日[土・祝]
- 平山郁夫美術館  
新作・大シルクロード特別公開(1)  
12月23日[土]～3月16日[金]

次回展覧会予告

「第3回尾道大学美術学科卒業制作展」  
2007.2.8[木]～2.13[火]  
「第1回尾道大学大学院美術研究科修了展」  
2007.2.15[木]～2.20[火]